

つながる! NHK メディア・リテラシー教室

2024年3月5日
実施報告

午前の部 参加校

120人の児童の皆さんにご参加いただきました!

【愛知県】	名古屋市立八熊小学校	5年生	42人
【北海道】	函館市立銭亀沢小学校	5年生	12人
【和歌山県】	和歌山市立伏虎義務教育学校	5年生	37人
【茨城県】	取手市立取手東小学校	6年生	29人

午後の部 参加校

75人の児童の皆さんにご参加いただきました!

【東京都】	北区立王子第五小学校	5年生	32人
【北海道】	函館市立銭亀沢小学校	6年生	5人
【和歌山県】	和歌山市立伏虎義務教育学校	5年生	38人



参加校の先生より

- ・色々な考えに触れることができ、メディア・リテラシーについて深く考えることができました。画像の加工については、児童の生活にも直結する大切な事項だと思います。しかし、児童の携帯やSNSのことにに関してまでは、なかなか指導しきれないのが現状です。教室でよりリアルに扱っていただけることは本当に有意義だと感じました。
- ・ケーキ屋さんの章では、情報の送り手の立場から、使用する画像を考えるという内容がとても興味深かったです。他の学校の児童の考えを聞いたり交流したりすることは、とてもよい学びの機会となりました。
- ・様々な学校と交流することで、いつもとは違う意見や考えを知ることができて、子どもたちにとってもよい経験になりました。学校紹介では自分たちの学校のよいところを見直すきっかけになりましたし、子どもたちの視点でどういったところがよいと思っているのかを知れたのでよかったです。
- ・色々な子どもたちと触れ合うことができ、とても楽しかったようです。また、オンラインで遠くの学校とつながれたことは、新しい教育としてとても勉強になりました。これからSNSなどに触れていく子どもたちに、早めに伝えることができたと感じています。
- ・学校紹介では、他県の学校の違いが子どもたちにとって刺激になり、教室への興味が深まったと感じましたし、アナウンサーが丁寧に進めてくれたので内容も分かりやすかったです。



参加児童へのアンケートより

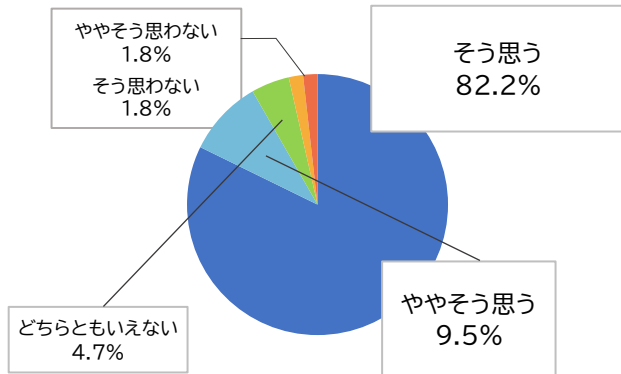
学んだこと

- ・全ての意見を取り入れるわけではないので、他の意見もあるということを理解して情報を見るということが大事だと思った。
- ・アップやルーズで受け手の印象が変わることを知ったから、自分は何を伝えたいのかをしっかりと考えることが大切。(画像の)加工は相手に迷惑をかけないように気を付けることが大切。
- ・受け手は、その情報だけではなく、自分の想像力を働かせて物事を考えることが大事だと分かった。

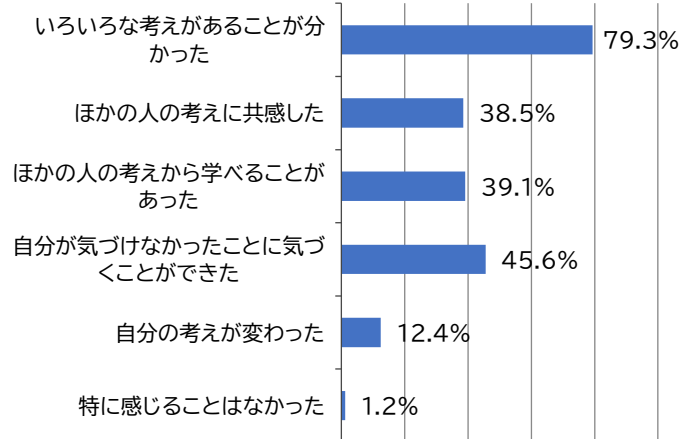
これから生かそうと思うこと

- ・送り手が一番伝えたいこと、使われていない映像などにはどのようなメリット・デメリットがあったのかを考えてみること。
- ・受け手の人が不快に思わないか、この情報は流してもよいのかということを考えて発信すること。

Q.この教室は楽しかったですか。



Q.ほかの学校の発表を聞いて、 どんなことを感じましたか。(複数回答可)



進行役・大橋 拓アナウンサーより

この教室は、事前課題の発表だけではなく、その場で考えてもらう課題も多く、毎回、新しい意見や視点があるのが、私たちにとっても刺激になっています。今回も、あえて質問を重ねることで、深い考えが出てくることも多かったです。メディア・リテラシーは、教室の中だけで「答え」が出るものではないので、今後も、ニュースや広告、ネット上の動画など身近なものを題材に、ぜひ周りの友達と話し合ってもらえると嬉しいです。

